

# 社会的養護で育ち、大学や専門学校で学ぶ私たちから、みんなへ

新型コロナウイルス感染防止のため、とても大変な状況となっています。

世界的な災害とも言える今の状況下で、自分たちができること「自粛」と「我慢」を今しばらく続けて、また元の状態に必ず戻れるように耐えましょう。また、今回の応援金について、朝日新聞厚生文化事業団の皆様方の心温まる支援に感謝申し上げます。

私はオンラインで大学の講義を受けています。私はオンライン授業には慣れていますが、初めての経験となる人には大変だと思います。孤独な学びにならないよう、クラスメイトとラインやメールで相談しながら頑張っていきたいと思います。もう少しいや我慢だと思います。感染しないよう、ストレスを溜めないように、在宅での過ごし方を楽しめよう！

入学式もなく、8月末期までオンライン授業となり、まだ大学生となった実感がないです。もし一人暮らしで進学していたらどうなっていたかわかりません。今は大学に行っていませんが、大学の費用は施設からでません。アルバイトもしていきなれないと思います。自分以上に困っている人にお金の勇気をあげてください。

学校に行けなかったり、アルバイトができなくて生活に不安があります。でも、今できることを精一杯やること、支えてくれるひとがたくさんいることを感じ、乗り越えていきたいと思います。

終わりがみえず、新しいことを始めていても、壁にぶつかるたび、自分が進む方向は正しいのかと不安になります。そんな中でも、「思いやり・心遣い」というのはお金は関係ありません。

余裕がなくなって、周りがみえなくなったり、何も手につかなくなってしまうことがあっても、決して「自分勝手・自分よがり」にはなっていない！

みんな互いに思いやって支えあっていくことが、本当に「再起の源」になると思います。

コロナをきっかけに、今まで、周りの同世代の人よりも「自分と向き合う時間」ととれてなかった人が多いと思うので、よりパワーアップしましょう！

ハンディキャップこそが私たちの強み。

たまに、悲しく感じることもあるけど、その分、私たちにはカリヨンという最強の応援団がいる！！一緒にがんばりましょう。私も力になれることはします！！

私は3年後専門学校を卒業し、経験を積んだ後、入所していた児童養護施設、通っていた小学校等に思返しができるような活動をしたいと考えています。なので、今は、学業に取り組みながら、アルバイトやボランティア活動などをし、入念な節約生活をしています。そして、なりたい私、叶えたい夢のために、あと3年間やっていくぞ！！と強く思っています。みなさんも一緒にがんばりましょう。



## 新型コロナウイルス 緊急学生応援金

主催 朝日新聞厚生文化事業団 協力 社会福祉法人カリヨン子どもセンター

新しい年度が始まり、心を入れ替え頑張る時期に新型コロナウイルスが流行し始め、外出自粛やリモート会議等慣れない事ばかりで戸惑う方が大勢居らっしゃる事と思います。私もその一人です。私は現在専門学校に通っていますが、もう二ヶ月近くも授業が無く、入学式等の行事も中止となり、毎日一つになったら普通に戻れるのかと不安な気持ちで過ごしていました。また新型コロナウイルスの影響でアルバイトも思うように出来ず、生活面も頭を抱える事がとても多いです。ですがこんな時だからこそ、深く考え過ぎず「何とかなる」と楽観的に構え、自宅でも新しい趣味等を探して羽を伸ばし、流行が収まった際には心身晴れやかな気持ちでまた少しずつ頑張る事が出来たらと思っています。十分手指消毒や三密には気を付け、病に負けぬよう、頑張ってください。

今は大変な時期ですが、自分のことを一生懸命頑張りたいです。金銭面などさまざまな障壁が立ちふさがり、苦しい状況ですが、学生のみなさんお互いに頑張ります。私も頑張ります！

これからの未来を担うのは、僕たち自身です。これから学ぶこと、現在学んでいることをフル活用し、よりよい未来にしていこう。

一番大切なのは、「思いやり」だと思います。何をしていく上で感謝も忘れないようにしたいです。